

日本銅学会誌「銅と銅合金」論文投稿要領

＜研究論文用＞

日本銅学会 編集委員会

2023年12月18日改訂

1. 投稿論文

- 1) 投稿論文は銅及び銅合金の製造、加工技術の向上およびその応用に寄与するもので、日本銅学会講演大会にて発表された論文もしくは発表予定の論文とする。
- 2) 講演大会で未発表論文の投稿を希望する場合には、原則として掲載直後の講演大会で発表するものとする。
- 3) 他の講演会や論文誌に掲載・発表した経緯のあるものは、内容の修正、追記等の変更点を加えたものであること、およびそれを明記した資料を添付する。
- 4) 投稿論文は、学会誌の発行とともにJ-Stageにも掲載される。

2. 投稿内容の区分及び分類

- 1) 論文の区分を、投稿原稿表紙の所定欄のリストから選択する。
- 2) 論文の分類を、研究論文内容の分類表（投稿原稿表紙の別紙）を参考とし、投稿原稿表紙の所定欄のリストから選択する。

3. 著作権

- 1) 会誌に掲載された個々の論文の著作権（著作財産権）は、日本銅学会に帰属する。ただし、著者自身の利用は妨げない。
- 2) 著作者は当該論文の複写の行使に関わる権利を当学会に委託する。

4. 原稿の執筆

- 1) 原稿は、論文執筆要領に従って作成する。また、原則として和文とし、Microsoft Wordにより作成する。
- 2) 図・写真・表を含めた全体のページ数は、5ページ以内（25文字、53行、2段組相当）を原則とする。この限度を越えたものは、特別な理由がある場合を除き書き直しを求めることがある。
- 3) 図・写真・表等を**カラーで作成した原稿も受け付ける**。なお、J-Stageにはカラーで掲載されるが、冊子体（印刷物）はカラー原稿をそのまま白黒出力したものとなる。

5. 原稿の提出

- 1) 原稿の提出は、オンライン投稿システムを利用する。
- 2) 論文を投稿する者はメールにて投稿の意思を示し、追ってシステム管理者より送られてくるオンライン投稿システムのアドレスにアクセスし、原稿を指定場所にアップロードする。また、可能な限り自身で原稿をPDF化し、それも同時にアップロードする。
- 3) 原稿の提出期限は、発表した講演大会の翌年2月末を原則とする。なお、特別に月日を指定された場合には、それを順守する。

- 4) 投稿にあたっては、必ず必要事項を記入した本学会指定の表紙（投稿原稿表紙）をつける。

6. 原稿の査読

- 1) 投稿された論文は、すべて査読が行われる。原稿の査読も、オンライン投稿システムを利用する。カラー原稿は、そのままの状態での査読される。
- 2) 著者は査読で指摘された事項を修正又は適切な処置をし、修正した原稿（修正稿）を電子投稿システム上にアップロードする。なお、修正稿では、修正点ができるようにすること。
- 3) 査読者名は、いかなる理由があっても著者本人及び一般にも公表しないものとする。
- 4) 会誌の編集は編集委員会の責任において行うが、原稿内容の最終責任は著者自身が負う。

7. 原稿の校正について

- 1) 校正も、オンライン投稿システムを利用する。
- 2) 初校は印刷会社で行い、第二校は著者校正とする。第三校も印刷会社で行い、これをもって終了とする。

8. 論文賞

- 1) 掲載された論文は、日本銅学会論文賞の対象とする。
- 2) 論文賞を受賞した場合には、連名者を含めた全員に表彰状を授与する。ただし、記念品の授与は1論文に対し筆頭著者も含め最大5名までとするが、希望があれば他の連名者に対しても実費にて記念品を作成し授与する。

9. その他

- 1) 掲載料（論文投稿料）は、1報あたり22,000円（税込み）とする。学会誌が発行されたのち、掲載論文の著者（学生の場合にはその指導教員）に対して請求される。
- 2) 学会誌の発行は、投稿した年の8月1日となる。そのため、短期集中的に編集作業（投稿、査読、印刷）を行うので、各作業の指定期日は厳守とする。
- 3) 投稿論文の別刷りは、印刷会社に直接申し込む。
- 4) 学会誌の発行後2年以内であれば、著者および内容が基本的に同一の場合に限り、英訳した論文を（公社）日本金属学会他と共同刊行されている「Materials Transactions」に投稿できる。なお、「銅と銅合金」に掲載済み論文であることを、英文論文の脚注に明記する。当該誌の執筆要領については、（公社）日本金属学会のホームページを参照する。

以上